

ふくし



千 せん

鎌倉市議会議員

一 はじめ

「千一と介護・福祉・
バリアフリーを考える会」

会報 2011年 1号

千一(せんはじめ)

鎌倉市扇ガ谷在住。鎌倉市議会議員3選。
神奈川大学経済学科卒業。

全身強いアテトーゼ(不随意運動・凝縮)を持った出生時からの重度の脳性麻痺により、手足、言語に障害を持つ。自由に動く左足指で、文字を書き、音声キーボードをたたいてコミュニケーションをとる。

「横浜市脳性麻痺者協会」副会長をつとめた。障害者の「グループホーム」の運営に携わってきた。鎌倉の介護・福祉・バリアフリー充実、前進のために只今、奮闘中!!



<連絡先>

おうぎがやつ

〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷 4-27-7

電話 0467(61)2031

FAX 0467(61)2032

E-mail senhaji@kamakuranet.ne.jp

URL <http://www.senhajime.jp/>

*お問い合わせ先 : TEL 0467-31-6565(森木)

千一はこう考えています!!

1. 高齢の方も障害のある方も住みよい地域社会をつくりまします。
2. ハンディを持った方の意見が反映される社会をともにつくりまします。
3. 「心のバリアフリー」こそがよりよい社会をつくりまします。
4. 社会保障を充実したものに改善していきます。
5. 誰もが移動しやすい「交通政策の実現」を目指します。
6. 安全で、のびのびと、個性的な子供を育てられる社会の確立こそ、私たちの将来をつくりまします。
そういう社会が、誰もが住みよい社会なのだ、私は、思います。

千一は、これまで「一般質問」などを通じて、主に、次のようなことを行ってきました。

皆様のご協力のおかげです。

これからも がんばります!

災害時における、姉妹都市との相互応援体制が整いました

議会の一般質問でも何回か取り上げて参りましたが、鎌倉市の姉妹都市である、栃木県足利市(平成18年7月30日)、長野県上田市(平成21年7月6日)、

そして山口県萩市と、平成22年5月6日に「災害時における相互応援に関する協定」において「要介護者の確保・支援」に関する覚書に締結をいたしました。

この覚書の締結により、例えば阪神大震災のような大地震が起きた場合、要介護者だけでなく介護人も被災者になり大変な時に、姉妹都市から介護人の派遣ができるような体制になります。

鎌倉市の皆さんも姉妹都市の皆さんも安心できると思います。

北鎌倉駅がバリアフリー化されます

平成23年度中に北鎌倉駅にエレベーターやスロープが設置され、バリアフリー化が実現されることになりました。

今までは、ホームに上がるのがとても大変で、車いすで行くと、駅員さんたちが4、5人がかりで階段の上り下りに手助けをして下さいました。

それが、これからはスムーズにできるようになります。

駅員さんたちも、車いす利用の皆さんも、ベビーカーの方も、杖をついた方も、重い荷物を持った方も、地元のみならず、観光で訪れる方たちも、ホームに行くのに、時間が短縮されます。また、ホームから下りるのもスムーズになり、北鎌倉駅を利用するのに、誰もが、大変、便利になります。